

子ども・子育て支援事業計画 進捗状況確認表【平成29年度点検・評価】【平成30年度計画】

資料3

【評価欄】 達成度 (A)80～100% (B)60～79% (C)20～59% (D)0～19% (E)事業完了・終了

1 子どもが笑顔で育つまち - (1)子どもの成長を支える教育・保育の提供 - ②子育て支援事業の充実

番号	事業名	事業内容	担当課	H29評価	H29実績	H29成果と課題	H30計画
14	休日保育事業	就業形態の多様化に対応するため、休日保育の実施を検討する。	子育て支援課	D	実施無し	休日保育の要望は全く無いわけではないが、現時点ではすみずみ子育てサポート事業の一時預かり等での対応としている。	当面はすみずみ子育てサポート事業での対応とするが、今後、休日保育のニーズが高まるようであれば検討していく。

1 子どもが笑顔で育つまち - (1)子どもの成長を支える教育・保育の提供 - ③就学後の教育・保育の充実

番号	事業名	事業内容	担当課	H29評価	H29実績	H29成果と課題	H30計画
28	「放課後子ども総合プラン」の推進	国の「放課後子ども総合プラン」の推進に伴い、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的な提供について検討を進める。	子育て支援課	D	放課後子ども教室がコミュニティセンター内で実施しているため、近隣のクラブが参加した。	放課後子ども教室をクラブの開設場所でも実施可能としたが、参加希望クラブが少ない。一体的な提供について協議が進んでいない。	放課後子ども教室と放課後児童クラブの担当者、指導員で協議を実施する。
			生涯学習スポーツ課	C	児童クラブと連携した教室を実施したのは、5ヶ所。うち初めて連携したところが1教室あった。	連携を促進するために、児童クラブ、子ども教室それぞれに、担当課から呼びかけをした。	前年度は各地区1教室以上実施したので、担当者間でノウハウを共有し、連携教室を増やしたい。

3 地域が笑顔で育つまち - (1)安心・安全のまちづくり - ①施設等の環境整備

番号	事業名	事業内容	担当課	H29評価	H29実績	H29成果と課題	H30計画
107	児童館活動事業	子どもたちが安全かつ安心して活動できるよう、施設環境の整備に努める。現在児童館で実施している放課後児童クラブを閉園となった幼稚園舎へ移動することにより、児童館機能の充実を図る。	子育て支援課	C	【公営13館】利用者数 59,644人 磯部コミュニティセンターの改修工事により、磯部児童室が休館。	大きな事件・事故等もなく、来館児童を受け入れることができた。	老朽化が激しい児童館及び同施設で開設している児童クラブについて、近隣の他施設や小学校の空き教室等へ移転することを検討していく必要がある。
110	公園維持管理	市が管理する公園の遊具等を点検し、危険箇所の補修を行う。	都市計画課	C	点検については実施した。危険箇所の補修については、必要最低限度を行った。	成果：遊具等の点検の実施 課題：予算の不足	継続して市が管理する公園の遊具等を点検し、危険箇所の補修を行う。

3 地域が笑顔で育つまち - (1)安心・安全のまちづくり - ②犯罪や事故等の防止・啓発

番号	事業名	事業内容	担当課	H29評価	H29実績	H29成果と課題	H30計画
117	安全安心まちづくり事業	市民が安全で安心して暮らすことができるまちづくりに関する施策を実践する。また、有効な施策の実践については、各機関どうしの連携が不可欠であるため、安全安心まちづくり推進会議を開催し、安全安心まちづくりに関する施策について協議する。	安全対策課	C	近年、刑法犯認知件数が減少していることから、「安全安心まちづくり推進会議」については未開催。坂井市役所のホームページにおいて、交通事故・犯罪の発生状況を掲載している。	近年、刑法犯認知件数が減少していることから、「安全安心まちづくり推進会議」については未開催。坂井市役所のホームページにおいて、交通事故・犯罪の発生状況を掲載している。	子供が被害者となる犯罪については、他府県(市町)において発生した事案でもあっても、特異な事案や波及が及ぶ可能性があるなど市民に注意喚起が必要な場合は、積極的に関係機関と連携を取り会議を開催し犯罪抑止に努める。
120	交通指導員の配置	交通指導員を配置し、早朝や薄暮時の街頭指導・巡回広報/パトロールを実施することにより、子どもを含めた住民の交通事故防止を図る。指導員の高齢化が課題であるとともに、定年制を設けたことにより、指導員の減員が予想されているが、今後も地域ぐるみの安全活動を推進するため、適正ある指導員の確保に努める。	安全対策課	C	交通指導員は43名(-6名)となっている。毎月1日、16日は、早朝・薄暮時における街頭啓発活動、巡回広報/パトロールを実施し、子供・高齢者に交通事故抑止を呼びかけている。また、各種イベントなどでの交通整理・交通指導を実施し、事故防止に努めた。	左記に記載のとおり、月2回早朝・薄暮時に街頭啓発活動を実施しており、高齢者・通学路の交通事故抑止に努めた。昨年、大雪の影響により、見守り隊や学校関係者と合同で、通学時間帯の交通監視活動を実施	昨年同様、警察と連携し街頭啓発活動を実施。特に、夜間・薄暮時での警戒や通学路における街頭監視活動を実施し、子供が被害となる交通事故抑止を呼びかける。

子ども・子育て支援事業計画 進捗状況確認表【平成29年度点検・評価】【平成30年度計画】

資料3

[評価欄] 達成度 (A)80～100% (B)60～79% (C)20～59% (D)0～19% (E)事業完了・終了

番号	事業名	事業内容	担当課	H29評価	H29実績	H29成果と課題	H30計画
121	防犯パトロールの実施	犯罪を未然に防ぐため、市内の拠点を中心に防犯パトロールを実施する。	安全対策課	C	防犯隊が中心となり市内の危険箇所等への立ち寄りを実施。子供が被害となる犯罪を防止するため、公園等を重点としたパトロールを実施。その際、夕方子供を見かけた場合、早めの帰宅を促した。	防犯パトロールを実施した結果、市内において、子供が被害となる犯罪の発生はなかった。 警察と連携を取り、重点地域・パトロールの時間帯等について検討する必要がある。	災害危険箇所(河川・用水)、過去の被害発生場所、発生の危険性がある地点等に対する防犯パトロールを実施。
122	不審者対策	保育所(園)・幼稚園・学校等において防災訓練を実施し不測の事態に備える。また職員を対象に講習会を開催し、予防や防護策を学ぶ。	安全対策課	C	警察と連携を取り、市内の幼稚園、小・中学校等で不審者対応訓練を実施した。昨年の実施数は44件(+16)(内訳 中学校3、小学校14、幼稚園等27)	不審者対応訓練については、全校(園)の実施には至っていない。なお、少年警察共助員についても犯罪抑止に向けての紙芝居等実施していることから、相互の連携を強化する必要がある。	引き続き、警察と更なる連携を強化し、昨年未実施の学校等に対する不審者対応訓練を実施予定。